

平成 28 年 11 月 4 日

各 位

会 社 名 五洋インテックス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 大脇 功嗣
 (J A S D A Q ・ コード 7519)
 問合せ先
 役職・氏名 取締役管理部長 小林 光博
 電 話 0568-76-1050

平成 29 年 3 月期 第 2 四半期連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

平成28年5月12日付当社「平成28年3月期決算短信」において公表いたしました平成29年3月期 第2四半期累計期間（平成28年4月1日～平成28年9月30日）の連結業績予想数値と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 29 年 3 月期 第 2 四半期累計期間の連結業績予想数値と実績値との差異 （平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想 (A)	1,000	△65	△75	△80	△4.94
実績値 (B)	1,021	△73	△71	△53	△3.28
増減額 (B - A)	21	△8	3	26	—
増減率	2.1%	—	—	—	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成28年3月期第2四半期)	777	△87	△96	△101	△7.29

- (注) 1 前回発表予想の1株当たり四半期純利益は、期中平均株式数 16,200,021 株に基づいて算出しております。
 2 実績値の1株当たり四半期純利益は、期中平均株式数 16,200,041 株に基づいて算出しております。
 3 前期第2四半期実績の1株当たり四半期純利益は、期中平均株式数 13,852,907 株に基づいて算出しております。

2. 連結業績予想数値と実績値との差異の理由

景気は、政府の政策を背景に緩やかな回復基調が見られましたが、海外景気の下振れリスク、円高や株価低迷、個人消費の伸び悩みなど不透明な状況で推移いたしました。当社を取り巻く事業環境は、室内装飾品関連（カーテン等）市場に影響を及ぼします新設住宅着工総戸数は増加しておりますが、個人消費の伸び悩みなどで厳しい環境となりました。

当社グループの売上高に関しましては、当社（室内装飾品関連）は個人消費の伸び悩みが影響して減少しましたが、子会社であります株式会社レックアイ（IT関連）はシステム開発等の受注が順調に推移したこと、また、株式会社イフ（室内装飾品関連）は外商が好調であったことで増加となりました。

利益面に関しましては、特別利益においてIT関連で違約金収入が発生しましたが、特別損失

において当初の予想より固定資産除却損が少なかったことで、当初の予想より損失が減少となりました。

3. 通期の見通し

通期の見通しに関しましては、個人消費の伸び悩みのなか、今後、当社の小売業への販売は不透明ではありますが、住宅メーカーへの販売が堅調に推移することが見込まれること、また、子会社であります株式会社レックアイ及び株式会社イフの業績が、引き続き順調に推移することが見込まれることから、通期の業績予想につきましては、現在のところ前回予想数値に変更はありません。

(注) この資料に記載しております業績等の予想数値におきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上